

| | | | | |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|------------------------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 福祉行財政と福祉計画 (2単位) | | 3. 科目番号 | SSMP3103 SNMP3303 |
| 2. 授業担当教員 | 卯尾 章 | | | SCMP3103 SBMP3103 PSMP3403 |
| 4. 授業形態 | 講義、グループ討議等 | | 5. 開講学期 | 春期/秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | <p>市場の失敗が問われている現在、これからは福祉分野においても、行政の役割が市場機能より重要になると考えられる。こうした問題意識から本講義は福祉と関連し、パブリック（行政）が行っている事について以下の点を中心に学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。）について理解する。 福祉行財政の実際について理解する。 福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。 | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 福祉分野において市場の失敗と行政の機能の変化について理解し、説明することができる。 福祉サービスの担い手として行政組織の役割について学習し、理解を深める。 福祉予算と福祉サービスの関係について学び、説明できるようになる。 福祉計画の理論と技法について、また、福祉計画がなぜ重要になってきたのかについて学び、説明できるようになる。 福祉行政の過程すなわち、plan→do→see→feed back について学び、理解を深める。 福祉計画の策定のとき、なぜ住民参加が重要なのかについて理解し、説明することができる。 | | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> ワークシート(配布プリント)は、数回提出を求めます。 確認テストを前半に1回予定、後半に総括テスト実施。 レポート課題：社会福祉基礎構造改革と福祉サービスの利用方式の分化について、措置制度と利用制度の特徴を述べて説明してください。(レポート形式については、授業で指示します) | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『福祉行財政と福祉計画』中央法規。</p> <p>【参考書】 坂田周一『社会福祉計画』有斐閣。</p> | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会福祉構造改革以後、変わった福祉行政のやり方について理解できたか 福祉財政についてその内容と課題について理解できたか 地域福祉と福祉計画地に関連し、それぞれの福祉計画について理解できたか 発表や討議を通して発表力の向上ができたか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業への積極的な参加度（討議や発表など）：40% 課題レポート及び予習ノート：30% 総括テスト：30% | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>講義内容に関心を持ち、教科書等だけでなく、新聞、TV、インターネット等で、現実にどのような社会福祉問題が起きているのかを自ら情報収集し、その解決のためにどうすればよいかを自分なりに考えてください。わからない用語などは調べましょう。いつも積極的に問題意識をもち、授業に臨んでください。事前学習時に教科書を読み、ワークシート(配布プリント)の空欄に適語を入れ授業に臨んでください。(予習ノートとなります)</p> | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内（初回授業）においてお知らせします。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 福祉と制度について 社会福祉の定義の変遷 | | 事前学習 | 教科書はじめにと pp. 2~10 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | | 事後学習 | 社会福祉の概念について整理しておく。 |
| 第2回 | 社会福祉法制度と福祉計画について | | 事前学習 | 教科書 pp. 11~33 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | | 事後学習 | 法制度の発展過程について整理しておく。 |
| 第3回 | 行政の骨格と社会福祉法制度について | | 事前学習 | 教科書 pp. 36~46 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | | 事後学習 | 社会福祉法令を読むポイントについて整理しておく。 |
| 第4回 | 福祉行政の組織について | | 事前学習 | 教科書 pp. 47~55 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | | 事後学習 | 国、都道府県、市町村等の役割について整理しておく。 |
| 第5回 | 社会福祉基礎構造について | | 事前学習 | 教科書 pp. 56~64 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | | 事後学習 | 福祉サービスの利用方式の分化について整理しておく。 |

| | | | |
|------|---------------------------------------|------|----------------------------------------------|
| 第6回 | 福祉財政について 国、地方自治体の財政、及び民間社会福祉事業の財源 | 事前学習 | 教科書 pp.66～80 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 社会保障関係費、民生費の動向について整理しておく。 |
| 第7回 | (第1～6回)授業のまとめ、確認テスト | 事前学習 | 学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。 |
| | | 事後学習 | (第1～6回)授業の復習をして理解を深める。 |
| 第8回 | 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 | 事前学習 | 教科書 pp.82～105 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 社会福祉行政におけるサービス提供過程の変化について整理しておく。 |
| 第9回 | 福祉計画の目的と意義について | 事前学習 | 教科書 pp.108～120 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 「推計」機能とその問題点について整理しておく。 |
| 第10回 | 福祉計画の理論と技法(1) 基本的視点と計画過程、ニーズ把握について | 事前学習 | 教科書 pp.122～147 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 福祉計画の過程とその特徴について整理しておく。 |
| 第11回 | 福祉計画の理論と技法(2) 評価と住民参加について | 事前学習 | 教科書 pp.148～162 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 評価の課題と参加の意義について整理しておく。 |
| 第12回 | 福祉計画の実際(1) 事例研究の視点と老人福祉計画・介護保険事業計画 | 事前学習 | 教科書 pp.164～194 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 福祉計画の分析枠組みについて整理しておく。 |
| 第13回 | 福祉計画の実際(2) 障害者計画・障害福祉計画 | 事前学習 | 教科書 pp.195～226 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 計画の策定事例について整理しておく。 |
| 第14回 | 福祉計画の実際(3) 次世代育成支援行動計画・地域福祉計画 | 事前学習 | 教科書 pp.227～257 を読み、語彙を調べ、ワークシートに取り組む。 |
| | | 事後学習 | 児童福祉分野における計画策定の意義と地域福祉計画の今後の活用と展開について整理しておく。 |
| 第15回 | (第8～14回)授業のまとめ、総括テスト | 事前学習 | 学習した教科書、ワークシートと授業内容を確認整理しておく。 |
| | | 事後学習 | (第1～14回)授業の復習をして理解を深める。 |